

奈良女子高等師範学校・奈良女子大学同窓会
佐保会兵庫県支部だより

第47号
発行者
佐保会兵庫県支部



五色塚古墳から淡路島をのぞむ

出会いに感謝

斎藤静子(S36 家被)

あこがれの大学に入学して出だしはよかったです。末っ子で頼心の強いあかたれの私は、段々と自信を失いストレスをためこんでいきました。

二回生になるころ、我を忘れて打ち込めるものはないかと必死に考え、行き着いたのが幼いころよりなじんできた謡と仕舞をすることでした。観世流を仲間と共に楽しめるクラブがあったら良いなと考えていた時、大学の近くで観世流の熱心な女性の先生がいらっしやることを知りました。早速、先生宅を訪問、ひたすらお願いしてクラブの指導を引き受けていただきました。

顧問に文学部の桜井庄太郎先生、部員はクラスメートの協力で七名集まりました。

昭和三十三年、ようやく観世会が誕生したのです。指導者の岩佐昭子先生、ご夫君の喜久弥氏もすこぶる熱心に取り組んで下さり、私達も暇さえあれば作法室で謡ったり舞ったりの毎日でした。次々と部員が増え、文化祭や他大学との交流等、活動が広がって行きました。後輩の人達の活躍ぶりには、目を見張るものがありました。

平成二十九年の創立六十周年記念会では、現役と全国から集まったOGが新公会堂で能、舞囃子、仕舞等、地謡はすべて無本での充実した内容でした。最初七人から始めた観世会がここまで発展したのかと思うと感無量でした。

私が姫路に住んでいたころ、もより会で川口汐子大先輩と出会いました。川口先生が作詞された『交響詩ひめじ』を合唱団で歌う時は特別な感動がありました。

ある時、川口汐子・岩佐寿弥共著の『あの夏、少年はいた』が出版され、少年の名前を見てびっくり！予想通り観世会でご指導いただいた岩佐喜久弥氏の弟さんでした。川口先生にお知らせすると、川口先生、そして寿弥氏も不思議なご縁に驚かれ、出版記念会や佐保会の講演会にもご一緒させていただきました。

岩佐家とは卒業後も交流が続いていました。父上の信也様は趣味で大和風物画を描かれていて、私にもたくさんの作品を折に触れて、下さっていました。大小すべての作品を写真に撮り、絵手紙とともに一冊のファイルにまとめ、出版記念会に持参しました。寿弥氏を始め皆様方に喜んで下さっているような気がして、この不思議なご縁に感謝の念でいっぱいになりました。

令和五年度佐保会兵庫支部総会

令和五年六月三日(土) ホテルクラウンパレス神戸

令和五年六月三日(土)、令和五年度佐保会兵庫支部総会が、ホテルクラウンパレスで開催されました。今年五月には、新型コロナウイルス感染症が五類に位置付けられ、少しずつ行動制限の緩和が進む中、五二名のご出席をいただきました。会は、この一年にご逝去された方々への黙祷から始まりました。門脇支部長の挨拶の後、議事に移り、すべての議案が承認されました。

次にお祝いが行われました。今年度は卒寿のお慶びは十名。卒業後五五年のお慶びは十九名の方が対象であり、出席された卒業後五五年の田中明子様からお言葉を頂戴し、ご一緒に祝いすることができました。

今年の特別企画第一部は奈良女子大学副学長の久保博子氏による「大学の現状について」の講話、第二部は人工知能研究者の黒川伊保子氏による講演でした。

台風と梅雨前線の大雨により新幹線が運休したため、黒川氏の来場がかなわず、急遽オンライン講演会となりました。懸命に映像と音声の調整を行い、講演会の実施を実現してくださった関係者の方々に感謝申し上げます。

最後に奈良女高師校歌を斉唱し、支部総会は無事終了しました。ご出席くださった会員の皆様方、お元気なお顔を拝見でき、本当に楽しいひとときを過ごすことができました。来年も、より多くの会員の皆様とお会いできることを祈念しています。



卒業後55年の田中様



令和六年度支部総会のご案内
日時 令和六年六月一日(土)
会場 ホテルクラウンパレス神戸
皆さま、お誘いあわせの上是非ご参加ください。

卒寿のお慶び (昭和29年卒業)

森田 絹子 様	理数
塩田 博子 様	文国
南 陽子 様	理動
田中 文子 様	理植
中野 久子 様	理数
貴田 康乃 様	家住
市丸 佐和子 様	文社
興地 由紀子 様	家食
鷺見 るり子 様	家被
飛鳥 光恵 様	家住

卒業後55年のお慶び (昭和43年卒業)

森口 房子 様	理数
佐々木 智子 様	文教
高山 倭文 様	家食
唐島 幸子 様	文英
中井 昌子 様	家食
佐藤 慶子 様	文英
白須 智寿子 様	文英
森 光子 様	理数
山路 正子 様	理生
田中 明子 様	文幼
鶴田 淑江 様	理化
岡本 恵子 様	文国
新穂 千賀子 様	理生
畑岡 美智子 様	理生
松原 秀江 様	文国
津島 房子 様	理化
橋本 八重子 様	理数
北垣 晏子 様	文英
是枝 恵美子 様	文幼

総会次第

物故者に対し黙祷

- 一 開会のことば
- 二 支部長あいさつ
- 三 新入会員紹介
- 四 議長選出
- 五 議事
 - ① 令和四年度事業報告
 - ② 令和四年度収支決算報告
 - ③ および会計監査
 - ④ 令和五年度役員承認および紹介
 - ⑤ 令和五年度事業計画(案)
 - ⑥ 令和五年度収支予算(案)
- 六 その他
 - ① 記念品贈呈
 - ② 卒寿のお祝い (昭和二九年卒業)
 - ③ 卒業後五五年のお祝い (昭和四三年卒業)
- 七 報告
 - ① 一般社団法人佐保会および奈良女子大学同窓会佐保会
 - ② その他
- 八 特別企画
 - 第一部 講話
大学の現状について
奈良女子大学副学長 久保博子氏
 - 第二部 講演
人生に効く脳科学
脳が創り出す男女のミゾ、人生の波
人工知能研究者 黒川伊保子氏
- 九 閉会のことば
奈良女子高等師範学校校歌斉唱

令和5年度新入会員の皆様 27名

卒業学部	氏名	地区
文地理環	大國 ことみ	西宮市
文対イ7	岡村 美佑	宝塚市
文欧米	佐藤 里湖	三田市
文人心	藤田 綾香	西宮市
理科物	木島 沙也加	北区
理科速	小田 桃香	西宮市
理化化	加藤 ひらり	たつの市
理化化	北村 葵	美方郡
理化環	安田 早織	明石市
生環食	藤野 礼佳	三田市
生環情衣	福一 真奈	宝塚市
生環情通	榎原 円香	伊丹市
生環情通	森川 結加	尼崎市
生環住	武野 楓	西区
生環住	内藤 碧音	垂水区
生環住	久田 涼香	東灘区
生環住	前田 七海	姫路市
生環文	小南 春陽	姫路市
生環文	清水 千沙帆	西区
生環文	長島 鈴奈	養父市
生環文	森本 さくら	小野市
生環文	吉田 朱里	県外
生環文	渡邊 陽	西宮市
博前数物	大西 可紗	加古川市
博前化生環	松下 愛	垂水区
博後比	豊田 麻美	南あわじ市
博後比	亀松 花奈	養父市

佐保会会員の皆さま方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、佐保会活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。佐保会兵庫支部は明治・大正・昭和・平成・令和の時代(時間軸)を奈良女子高等師範学校・奈良女子大学という学び舎(空間軸)で過ごした兵庫県に縁のある方々の集う会です。いろいろな会合や場所などで一緒に過ごしたときに、初めてお会いしてお話しているうちに、佐保会員であるとわかると、たとえ年代が離れていても急にお互いの距離が近くなり親しくなります。それが、同じ学び舎で過ごした同窓というものであるのかと思います。

佐保会活動の存在が卒業生にとつての支えとなり、絆を確認できる場であり続けるために、皆さまのお力を借りながら、佐保会活動をさらに活性化させていただきますと思います。佐保会活動へのご意見・ご要望等ございましたら、事務局までお知らせください。

本年度は、佐保会活動もコロナ禍前のように活発になってきました。令和6年度もさまざまな活動を計画しております。同じ学び舎で学んだ者同士が気軽に集える佐保会活動になりますように、一人でも多くの方の佐保会活動へのご参加を心よりお待ち申し上げます。皆さまのご健康とますますのご活躍をお祈りいたします。

ご挨拶

支部長

門脇千里(S53 家食)



令和4 (2022) 年度事業報告

令和4年	6月 4日(土)	支部総会(ホテルクラウンパレス神戸)
	8月 27日(土)	第27回地区リーダー会(ウィズあかし)
	10月 20日(木)	睦会第45回睦会(楠公会館)(昭和52年卒業者担当)
	11月 11日(金)	佐保塾(神戸旧居留地)
令和5年	2月 1日(水)	「支部だより」第46号発行(神戸市須磨区担当)
	2月 25日(土)	『佐保会報』『Today』『支部だより』等、全会員に発送(1221通)
	3月 5日(日)	「支部だより」引き継ぎ会(明石生涯学習センター)(神戸市須磨区→神戸市垂水区)
	3月 21日(火)	会計監査

令和5 (2023) 年度事業計画

令和5年	6月 3日(土)	支部総会(ホテルクラウンパレス神戸)
	8月 26日(土)	第28回地区リーダー会(ウィズあかし)
	10月 19日(木)	第46回睦会(楠公会館)(昭和53年卒業者担当)
令和6年	2月 1日(木)	「支部だより」第47号発行(神戸市垂水区担当)
	2月 25日(日)	『佐保会報』『Today』『支部だより』等、全会員に発送
	2月 25日(日)	「支部だより」引き継ぎ会(神戸市垂水区→神戸市西区)
	3月 23日(土)	会計監査

<参考>令和6 (2024) 年度について

- (1)「支部だより」第48号、編集は神戸市西区の担当
- (2)「第47回睦会」は昭和54年卒業者の担当

－ 哀悼 －

番 玲子 様 (S35 理数) 2023.2.11没	石原 範子 様 (S47 理物) 2022.7.26没	柳 和子 様 (S11 家) 2013.3.16没
大場 和子 様 (S39 文英) 2023.2.21没	増井 葉子 様 (S29 文英) 2022.7.16没	八木 静子 様 (S09 文) 2014.4没
籠谷 佳代子様 (S47 文地) 2022.9.4没	茶谷 萬壽代様 (S19 家) 2023.4.14没	赤川 範子 様 (S28 理家食) 2023.2.25没
立花 紀子 様 (S38 理数) 2022.5.21没	内藤 一子 様 (S18 文) 2021.11.8没	今西 茅也子様 (S26 幼教) 没日不明
吉田 成美 様 (S63 理化) 2022.1没	小山 ヤエ 様 (S09 理) 2012.2.22没	田中 洋子 様 (S44 家食) 没日不明

令和4年度収支決算・令和5年度収支予算
(収入の部) (円)

科目名	令和4年度決算	令和5年度予算
前年度繰越	3,873,792	3,929,572
支部会費(A)	439,000	439,000
貯金利息(B)	2	2
本部より補助(C)	132,300	132,300
雑収入(D)	0	0
寄付(E)	229,000	0
ABCDE小計	800,302	571,302
合計	4,674,094	4,500,874

(支出の部) (円)

科目名	令和4年度決算	令和5年度予算
総会補助費	40,420	60,000
通信費	1,500	5,000
印刷費	3,140	5,000
交通費	36,920	60,000
支部たより等発送費	227,354	250,000
支部たより作成費	62,000	70,000
事 睦会補助	70,000	70,000
業 様の会補助	1,000	1,000
費 ホームページ研究会	25,000	25,000
地区リーダー会	36,979	40,000
もより会補助	92,806	180,000
庶用費	94,234	62,000
事務費	42,889	50,000
予備費 (収支懸担当年次のみ)	10,280	0
ホームページリニューアル費		80,000
合計	744,522	958,000
次年度繰越	3,929,572	3,542,874

預り金 (円)

本部会費	318,000	318,000
------	---------	---------

資産内訳

定額郵便貯金	2,550,000
通常貯金	111,366
振替貯金	1,268,206
合計	3,929,572

令和5年度 佐保会兵庫県支部役員

役職名	氏名	卒業年学部	地区
支部長	門脇 千里	S53家食	加東市
副支部長	桑名 好恵	S50家食	神戸市西区
庶務	末田 香里	S45家食・S47家修食	明石市
	谷本 彰子	S49文英	神崎郡福崎町
	八百 美知子	S52理生・S54理修生	神戸市垂水区
	山本 三和子	S55理化	たつの市
	永田 ひろみ	S57文教	神戸市中央区
	横田 美恵	S61理数	姫路市
会計監査	西山 衣里子	H14生環アバ・H16博前人	神戸市中央区
	細川 明子	S51文教	神戸市西区
	中川 順子	S52家住	姫路市

令和5年度 佐保会兵庫県支部各委員会運営委員

「様の会」運営委員 (○代表)	氏名	卒業年学部	地区
「様の会」運営委員 (○代表)	末田 香里	S45家食・S47家修食	明石市
	片寄 真木子	S36家食	尼崎市
	岩崎 雅美	S44家被	明石市
	乙武 ヨシミ	S44理生	明石市
	永田 ひろみ	S57文教	神戸市中央区
「ホームページ研究会」運営委員 (○代表)	丸岡 玲子	S53理数	明石市
	永福 より子	S44家住	神戸市北区
	乙武 ヨシミ	S44理生	明石市
	富山 和子	S53家住	たつの市
	山本 三和子	S55理化	たつの市
	山田 元美	S57理数	たつの市
	西山 衣里子	H14生環アバ・H16博前人	神戸市中央区

一般社団法人佐保会役員(兵庫県関係者)

一般社団法人佐保会	理事	氏名	卒業年学部	地区
	代議員	末田 香里	S45家食・S47家修食	明石市
谷本 彰子		S49文英	神崎郡福崎町	
柳瀬 あや子		S42文国	神戸市東灘区	
岩崎 雅美		S44家被	明石市	
永福 より子		S44家住	神戸市北区	
高階 時子		S48文国	加東市	
桑名 好恵		S50家食	神戸市西区	
八百 美知子		S52理生・S54理修生	神戸市垂水区	
門脇 千里		S53 家食	加東市	
丸岡 玲子		S53理数	明石市	
山本 三和子		S55理化	たつの市	
永田 ひろみ		S57文教	神戸市中央区	
星野 美佳		S61家生	神戸市須磨区	
西山 衣里子	H14生環アバ・H16博前人	神戸市中央区		

一般社団法人佐保会の理事、代議員の任期は、R4.9総会後からR6.9総会まで

～ご寄付のお礼～

平成25年より佐保会兵庫支部では会員の皆様にご寄付をお願いしていますが、今年度も多くの方からご寄付いただきました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

支部活動の一層の活性化のために、今後ともご支援のほど宜しくお願い致します。

ご住所、ご芳名の変更は兵庫県支部ホームページからお知らせください。

神戸市垂水区の海岸散歩～垂水から舞子まで～



舞子海上プロムナード



孫文記念館



旧武藤山治邸



「ジェームス邸」
1934年に完成、現在はレストラン、結婚式場として活用されています。

「旧グッゲンハイム邸」
1908年に建てられ、現在は多目的スペースとして利用されています。毎月第3木曜日に無料見学会が実施されています。

JR・山陽垂水駅から西側に徒歩10分。兵庫県で一番大きな「五色塚古墳」があります。淡路島を望む台地の上に築かれた全長194mの前方後円墳です。4世紀の終わり頃、この古墳に葬られた人は、明石海峡とその周辺を支配した豪族だと考えられます。古墳に上ると、表紙の写真のような大パノラマが広がっています。五色塚古墳からさらに西へ進むと、海岸に下りる道があり、アジュール舞子に出ます。「BE KOBE」のモニュメントが話題の撮影スポットです。そのまま海岸沿いの遊歩道を散歩してみましょう。「旧武藤山治邸」や「孫文記念館（移情閣）」が見えてきます。旧武藤山治邸は、1907年に建てられた木造2階建てのコロニアル様式の建物です。内部を見学でき、カフェもあります。孫文記念館は、孫文を顕彰する日本で唯一の博物館です。この記念館では、孫文と神戸の関りを中心に展示が行われています。さて、いよいよ明石海峡大橋の真下に到着します。橋脚内のエレベーターを上がって「舞子海上プロムナード」に行ってみましょう。海面から高さ約47m、陸地から約150m、明石海峡へ突出した回遊式遊歩道です。遊歩道には床がガラス張りになっている箇所があり、スリル満点です。展望ラウンジからは明石海峡、淡路島、大阪湾、遠くは関空、和歌山まで見渡すことができます。明石海峡大橋のことをもっと詳しく知るために、隣接された「橋の科学館」へ行ってみましょう。ここは、世界最高水準の架橋技術をわかりやすく紹介したサイエンスミュージアムです。明石海峡大橋は、1998年に完成した、全長3,911mの世界最大級の吊橋です。イルミネーションは毎日行われており、季節ごとやイベントごとに照明のパターンが変わり、毎正時には虹色に変わります。ぜひご覧ください。

並川明子先生(S24保)をお訪ねして

垂水区佐保会員五名で、垂水で長きに渡り幼児教育に携わって来られた並川明子先生を明舞幼稚園にお訪ねしてきました。

並川先生はお母様と同じ奈良女高師の保育科を卒業され、お母様が設立された霞ヶ丘幼稚園で勤務されてきました。当時、塩屋には幼稚園が無く、電車で通園している子どもたちの身を案じて塩屋町に幼稚園を創ることを決心されました。その後、地域の要望に応じて、明舞幼稚園や桃の木幼稚園を開園されました。更に女性の社会進出や高齢化社会という時代のニーズに応える形で、たるみ保育園やたるみグループホームを設立されました。並川先生は九三歳になられた現在も、毎日のようにたるみ保育園にお顔を出されています。私たちがお訪ねした時も、今まで歩んでこられた道のりをにこやかに話して下さいました。ご苦労が大きかったにも関わらず、常に前向きに生きてこられたこと、お聞きして感銘を受けました。現理事長である娘の後さんからは、「母は常に新しいことに挑戦する人だ」と伺いました。



前列右が並川先生

朗読ボランティアに関わって

山本 裕子(S52文園)

中途失明の視覚障害者を対象とする朗読ボランティアのグループに入ったのは、三七年前。読み方はもちろん、カセットデッキの扱い方、固有名詞の読みの調べ方など勉強することが多く、実際に録音させてもらったのは、一年近くたってからである。「朗読ボランティアは、依頼のあった図書を、その方の眼の代わりとなって正確に読んで、雑音を入れずに録音する作業である」ということを、最初に叩き込んでくれた。

以来、小説やエッセイだけでなく、あんなまっさらジや鍼灸の国家試験の問題集、食品成分表、電話機の説明書、法律の本、宿泊施設一覧表等々、さまざまな依頼図書をテープにしてきた。一冊の本は九十分テープ十数巻になり、校正も合わせて作成にはその何倍もの時間がかかるとも思われる。リスナーの感想が直接聞かえてきたのは数回であるが、「とてもとてもおもしろかった」という代筆のメモを頂いたことなど、宝物として心に暖かく残っている。

阪神大震災を機に、それまで属していたグループは解散し、同じような考えを持つ者で、十人未満の小さなグループを立ち上げた。月に一回、勉強会と打合せをするだけで、帰りにお茶することもないが、長いおつきあいになった。それぞれに親や配偶者の介護や看取りを経験しながら、また活動に戻ってきている。正確無比な読みの人、いささか芝居気な多い人、几帳面な人、大雑把な人とさまざまだが、いづれも、かけがえのない大切なメンバーである。

ただ、大きな誤算は、デジタル化の波に乗れなかったこと。デジタル図書(デジタル録音図書)への切り替えが求められていた頃、今さら新しいやり方を覚えるのも大変だという声が多く、私たちはテープ録音を続けて、カセットテープがなくなったら活動も止めようと思った。だが、思ったよりずっと早くテープを聴く人は少なくなってしまう、テープデッキが壊れても修理もしてもらえない。けれども私たちは、昔の予想に反してまだやめたくない。乏しい知識を総動員して、CD作成と並行して工夫しながら、氣息奄々と時代遅れの活動を続けている。

今、パソコンやスマホの読み上げ機能が発達し、AI自動音声もとても自然に聞こえるようになった。オーディオブックもたくさんある。朗読ボランティアに求められるものは変わってきているのだろうと思う。私たちのささやかな活動も、振り返れば、時代とともに歩み、ゆくりと終わろうとしている。

空の知を耕す | Sky Cultivation | 押谷 衣里子 (H14生環アパ・H16博前人)

都会で暮らしている私たちの、その瞳に映る世界は、建物やアスファルトで覆われていて。ある時、Google mapで神戸の街を空から眺めるとそこには、グレイ色の道路や屋上が広がっていました。

なれば、ビルの上から山から土を運び、仲間たちとそこへ緑を植えるようにしたことが、はじまり。

はじまりとなった、パトナーの営む建築事務所の屋上には、今、ブドウの枝が広がり、夏には柔らかな葉影をつくってくれます。手作りしたプランターにはハーブや野菜が実り、レモンやライム、トケイソウ、茶の樹の周りにははんとやむしや美しい蝶がひらひらとやってくる。私たちはその中でハーブを摘み、ティーブルを囲み、時に仲間の醸す自然派ワインを片手に、一緒に食事をします。

それから、子どもたちと保育園の園庭を食べられる森にする。赤十字病院の屋上に不養生な医師達と彼らのウエルビーイングを守るハーブを育てる。漁師達と運河の側に海を再生する為の畑を作り山の農家と協力して稲と海藻を植える。ビルの深間に在る日陰の庭にきのこを生やす。神戸北野の観光地の空き地を住民と果樹園に変える。そうして出来た野菜を、食べることに困っている人々と分け合う。耕作放棄地を学生たちとまた新たな里山として定義する。植物を通し共生する動物達との関係を見直す。食べることで出るゴミから土を作り循環の中へ還す。

土に触れること、自分で食べるものをひとつ、自分の手で作ってみる。摘んだ花を一輪、食卓に飾ってみること。身の回りの自然を知り大切にすること。きつといつかその小さなひとつの経験が、壮大な宇宙の環境を変化させていく可能性の一步であり、豊かな人生を彩ってくれる、素晴らしいエッセンスになるのだ、と想っています。

小さな実験からはじまった私たちの活動はいま、街の屋上や空き地のグレイ色をほんの少し、違った色へと塗り替えています。

睦会報告

松本久美子 (S53家食)

令和5年10月19日、湊川神社「楠公会館」にて、第46回睦会を開催いたしました。会場の大きな窓からは、まだ緑色のイチヨウの葉っぱが美しく揺れているのが見えました。

今年のイベントは出席者参加型のマジックショー、Mr.オクチの軽妙なトークを交えながら驚きと感嘆の不思議ワールドを楽しみました。「オォー!!」というどよめきとともに大きな拍手が沸き起こり、31名の出席者の方々は興味津々の面持ちで身乗り出すように観覧されました。道具を使わないマジックの一つ教えていただきました。タネ明かしの解説を聞くと簡単そうに思いましたが、そこにタネがあることを悟られないような演技が要求されていると気づき、やはりマジックは夢の世界だと改めて思いました。「アンコールはないのですか？」の会員の質問に、予定にはなかったパントマイムも披露してくださり、まるでそこに壁が実在するかのようパフォーマンスに、これも、ないものがあるように見せる魔法の一つだと大いに盛り上がりました。

マジックショーの後は、和やかに会食・歓談、そして校歌斉唱で締めくくり、閉会となりました。まだまだ終息を見ないコロナ、前倒しのインフルエンザ等、感染症の不安の中で、ご出席くださいました会員の皆様方に深く感謝申し上げます。



ホームページ (HP)研究会 (ITサロン)

丸岡玲子 (S53理数)

ITに関する最近の大きな話題は、やはりAIが今後どのような形で私達にメリットとデメリットをもたらすのかという事ではないでしょうか。ITサロンでも、7月にChatGPTを取り上げました。個々にアカウントを取得し、質問を投げってみる方や案内文を作らせてみる方など色々おられ、直ぐにそれなりの回答が返ってくるので、驚くやら感心するやら、楽しく試用しました。「参考としては使えるけど、鵜呑みにしてはいけなね」という冷静な評価もまた佐保会らしく、皆で楽しいITサロンができました。

ChatGPTはアメリカのOpenAI社が開発・提供しているサービスで、正式名称はChat Generative Pre-trained Transformer (文章生成モデル)です。ユーザーが入力した質問に対して、まるで人間のように自然な対話形式でAIが答えるチャットサービスで、与えられたテキストの指示に対して自然言語(回答)を生成するAIです。インターネット上にある膨大な情報を学習し、複雑な語彙・表現も理解できるのが特徴ですが、その元になっている情報は、現時点までに多くのインターネットユーザーが書き込んだ玉石混交の情報であるところにプラス面とマイナス面があります。専門家は「人間がAIを管理すべき」といった意見を仰っていますが、AI開発者にも色々な価値観の人がいるので、独自で先進的な可能性を追い求めた結果、AIが自分で勝手に成長するような時代が来るのではないかと懸念しています。

私が子供の頃に夢になった漫画の一つに鉄腕アトムがありますが、アトムの時代設定はまさに21世紀で、手塚治虫氏が書かれた世界が現実となりつつあります。「ほぼ人間と同じ感情を持ったロボット」として生まれたアトム(2003年4月7日生)は、100万馬力だけでなく、善悪の判断力と正義感を持っています。でも残念ながら現実の世界では、AIを使ったフェイクニュースで世の中を混乱させ間違った方向に誘導しようとしたり、著作権やプライバシー侵害の問題も出ています。

AIを開発する人も活用する人も、アトムのような善いAIをめざすのが、結果的に自他の利益と幸福に繋がるのだという事を忘れないでほしいと切に願います。

奈良女子大学の今

奈良女子大学記念館が春と秋に一般公開されると聞いて、十一月の学園祭（恋都祭）の時に訪問しました。記念館にはたくさんの一般の方も訪れ、熱心に展示物をご覧になっていました。



二〇二二年四月、日本の女子大学史上初の工学部が開設されました。学園祭の時に、工学部内のカフェ（模擬店）に行ってみました。工学部の学生さんに話を聞くことができました。ものづくりの楽しさを実感されているようで、生き生きとした表情が印象的でした。



私たちが在学していた昭和の頃のキャンパスとは違って、たくさんの棟が立ち並び隔世の感がありました。一方、昔のままの佐保会館があり、懐かしい想いがこみ上げました。

キャンパス内にはたくさん模擬店が立ち並び、ステージ上では学生によるダンスや演奏が行われていました。紅葉の季節の奈良に多くの人が訪れ、とても賑わっていました。

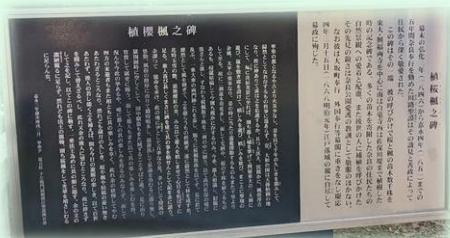




奈良女子大学の新寮を見学してきました。木造、メゾネット式の二階建て一ユニット三人のシェアタイプ（共用キッチン十三個室）です。外観が古い建物も含めて全部個室になっています。四人部屋の寮を経験した私たちにとっては羨ましい限りです。



門衛所奥の井戸跡



奈良女子大学の昔

正門前の歩道を北へ行くと、奈良女子大学のキャンパスが、江戸時代の奈良奉行所の跡地だったことを示す案内板を見つきました。現在の大学の正門が、奉行所の正門でもあり、門を入れて左奥に奉行の役宅、与力・同心の詰所、白洲といった中枢の建物があったそうです。門を入れてすぐ右手には、別棟や馬繋ぎがあつて、前に井戸があつたそうです。奉行所を訪ねてきた人はここで馬を下り、井戸で足などを洗ったそうです。この井戸は現在も大学正門脇の門衛所の右奥にあることを確認しました。

奈良奉行所には、幕末に川路聖謨（かわじとしあきら）という名奉行がいました。一八四六年から一八五一年まで在任し、犯罪を厳しく取り締まる一方、裁判には公正を心掛け多くの人々の支持を得ていたそうです。また、荒廃した東大寺や興福寺に桜や楓の植樹を行って、今の奈良公園の基礎を作りました。その功績を称えて、興福寺の南側に「植桜楓の碑」が建てられています。今や奈良市内の桜の名所として有名な「佐保川の桜並木」の中には、樹齢一七〇年ぐらいと言われる川路桜が残っており、今なお、ひとときわ美しい花を咲かせています。

楳(ゆずりは)の会 令和6年度 行事予定(案)

開催日	内容	講師(敬称略)	会場	時間	備考
2024年					
4月25日(木)	「庭園研究家(故)森蘆先生の思い出を受け継ぐ奈女大生達」	中島悦子	ウイズあかし: 学習室 703	13:30~15:00	参加費 300円
5月23日(木)	竹中大工道具館 木材の利用の歴史、大工道具の発展とその技術について	併せて法隆寺模型や組子細工など 和の伝統美の展示	10:00 JR三ノ宮駅西口集合 三ノ宮から市バス、現地解散	10:00~11:30	入館料700円 65歳以上500円
6月27日(木)	バスツアー 国宝浄土寺(小野市)と平池公園(大賀ハス)、鶉野飛行場	浄土寺:現地ガイドの説明、 2000年前の種子から花開いたハス	10:00 明石グリーンヒルホテル :集合・解散(神姫バス乗降)	10:00~17:00	参加費 4000円 (昼食を含む)
7月25日(木)	マーシャル諸島の14年 マーシャル共和国教育省数学科初代シニア	松本ちづ子 ボランティア2年、教育省職員12年	ウイズあかし: 学習室 703	13:30~15:00	参加費300円
10月24日(木)	歴史散歩 ~芦屋川 在原業平伝説の地~	壇岡(小栗栖)真弓	10:00阪神「打出(各停)」集合、 JR芦屋で解散(昼食は各自)	10:00~12:30	市バスは各自
11月28日(木)	私のボランティア活動 ~保護司とアフリカ・ジンバブエでの野球支援~	正岡 康子 瑞宝双光章叙勲	ウイズあかし: 学習室 703	13:30~15:00	参加費300円
2025年					
2月28日(金)	ヨドコウ迎賓館(旧山邑家)重要文化財 雛人形(明治の人形)	F. L. ライトが山邑家(灘の酒造家)の依頼を受けて1918年別荘として設計	10:00阪急「芦屋川駅」北出口 集合・現地解散、(芦屋川駅~JR芦屋までの市バスあり)	10:00~11:30	入館料各自で購入 (シニア400円)

- 1) 会場は「ウイズあかし」(アスピア明石北館) 7階 学習室、明石駅から徒歩3分です。
- 2) **すべて申し込みが必要**です: 楳の会のEメール(yuzuriha@saho-hyogo.girlfriend.jp)、又は末田の電話にご連絡下さい。
- 3) 佐保会員以外の参加も歓迎します。
- 4) 年間行事の近々の予告や終了した行事の内容は、「佐保会兵庫県支部」のホームページにUPしています。

令和6(2024)年度運営委員 末田香里(078-939-4532)、片寄真木子、岩崎雅美、乙武ヨシミ、永田ひろみ

令和5年度 地区リーダー

(令和5年12月現在)

地区(会員数)	氏名	卒年・学部学科等	地区(会員数)	氏名	卒年・学部学科等
神戸市	東灘区(115)	清水 陽子 S57理生 吉田 孝子 S58理数	阪神北	川西市 (川辺郡)猪名川町(54)	川田 多栄 S45家住 藤原 淳子 S62家被
	灘区(36)	上原 美由紀 S62文国 H01文修国 正木 みどり H06理化		三田市(51)	角野 敏子 S58理物 千代延 栄恵 S63家生
	中央区、兵庫区	渡部 晴美 S57理物	東播	明石市(51)	藤井 稚津子 S63文体 岡野 亜希子 H04文英
	長田区(57)	渡辺 知子 S62家生		加古川市、高砂市 (加古郡)播磨町、稲美町(55)	川崎 万紀代 S52理修数 大西 香里 H06理数
	北区(51)	永福 より子 S44家住 松本 久美子 S53家食	北播	西脇市、三木市、小野市、加西市 加東市、(多可郡)多可町(32)	常深 規子 S52理物 合田 夏美 S56理化
	須磨区(44)	星野 美佳 S61家生 中村 真理子 S61家生		中播	姫路市、(神崎郡)神河町、 市川町、福崎町(117)
	垂水区(61)	出井 葉子 S55文教 武 佳美 S56家生	西播		相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市 (揖保郡)太子町、(赤穂郡)上郡町 (佐用郡)佐用町(42)
	西区(66)	細川 明子 S51文教		但馬	豊岡市、養父市、朝来市 (美方郡)養美町、新温泉町(27)
阪神南	尼崎市(61)	佐藤 美子 S48文史 S50文修史 伊藤 恭代 S54理化 S56理修化	丹波篠山市、丹波市(15)		小林 嘉子 S37家被 三角 三紀子 S44理数
	西宮市(116)	安達 由利子 S51家食 芳田 登志美 S51家被	淡路		洲本市、南あわじ市、淡路市(20)
	芦屋市(41)	池澤 直子 S49理化 岡本 京子 S62家生 H01家修生			
阪神北	伊丹市(36)	屋島 亜矢子 H05理化H07理修化 浦浜 理恵 H15生環アパ	県内合計 1229		
	宝塚市(81)	山本 恵子 S53家生 久田 芳美 H02文国	県外(外国在住を含む) 25		
			兵庫県支部 所属会員 1254		

編集後記

年明け早々に地震や事故が起こり、平穏な日々の有難さを痛感する毎日です。支部だより47号を作成するにあたり、垂水や奈良を訪ねて行くうちに、私たち編集委員の絆が強くなりました。

原稿を寄せてくださった会員の皆様および支部役員の方々に心より御礼申し上げます。

編集委員: 坂木、柏木、武、出井、八百